

「まわしよみ新聞」で遊ぶ



まわしよみ新聞をつくる生徒たち
— 東根市・東桜学館中

東桜学館・中学1年生が体験

グループで新聞を読み、面白いと思った記事を切り抜き、自分が選んだ記事について発表し、壁新聞を作る「まわしよみ新聞」。今月5日、東根市の中高一貫校・東桜学館（官宏校長）の中学1年生がこれに取り組んだ。新聞を使った遊びの一つだが、記事を通して多角的な視点を学んだ。

まわしよみ新聞は、大阪さんが考案。講師は、陸奥で街づくりプロデューサーさんの「まわしよみ新聞編」として活動する陸奥賢 集長養成講座」に参加した

現実はどうだ新聞



現実はどうだ新聞

記事切り抜き壁新聞に 身に付く編集力

ことがある県NIE推進協 紹介した記事や、エアコン 議会議長の阿部和久さんが務 の広告などから「汗」をキ めた。生徒たちは班ごとに、 ーワードにしてまとめた。 5日付の山形新聞と各家庭 から持ち寄った新聞から記 事や広告など1人3本ずつ も「日本の未来を背負う責 任感に、冷や汗」とコメ 切り抜き、レイアウトした。 ある班が作った「現実 は ントを添え、うまく結び付 けようだ新聞」。殺人事件や イスラム国の話題などの暗 い記事が集まったという。

思いがけない現実も知っ た。小学4年生が親に感謝 する「2分の1成人式」に 関する記事。ある生徒は「親 がいない子や虐待を受けて いる子には、つらい行事だ ということを初めて知っ た」と驚いた。授業を企画 した国語科の延沢恵理子教 諭は「口頃から授業で共通 点と相違点について考えさ せているが、この班はそれ を見つけている」と話す。

阿部さんによると、まわ しよみ新聞は「編集する力」 がつく。「現実はどうだ新 聞」も良い例だが、別の班 が作った「発汗新聞」もユ ニークだ。発汗の仕組みを